

サウジ国家廃棄物管理センターと「廃棄物管理ワークショップ」を開催

～ 日本企業のサウジアラビア廃棄物分野への進出を支援 ～

2024-11-29

一般財団法人 中東協力センター

中東協力センターは 11 月 26 日、サウジアラビアの首都リヤドにてサウジアラビアの国家廃棄物管理センター（National Center for Waste Management: MWAN）と共催で「廃棄物管理ワークショップ」を開催しました。MWAN は、廃棄物管理のマスタープラン作成や情報システム構築をはじめとする制度整備を所轄する機関です。

ワークショップには、MWAN からはムハンマド・アル・アセム（Dr. Muhammad Bin Suleiman Al-Asem）企画開発担当副社長をはじめ 13 名が参加。日本企業 13 社（計 25 人）にとって、公表間近の同国の戦略的マスタープランについて理解を深める機会となりました。

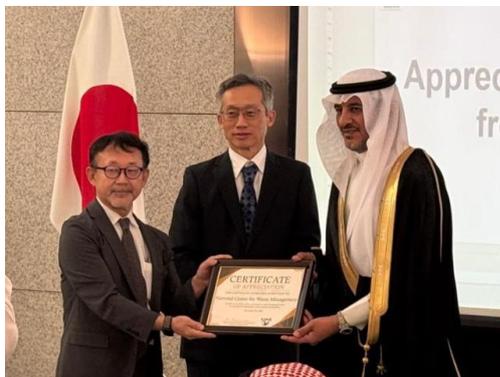
冒頭、森野泰成駐サウジアラビア日本大使およびムハンマド副社長が開会の挨拶を行い、続いて当センターサウジアラビア事務所総代表の宮内より、本ワークショップ開催にあたっての MWAN の協力に対し、感謝状が贈呈されました。



森野泰成大使 開会挨拶



MWAN ムハンマド副社長 開会挨拶



宮内サウジアラビア事務所総代表
感謝状贈呈



MWAN スレイマン
セクター・プランニング・ディレクター 基調講演

基調講演では、MWAN セクター・プランニング・ディレクターであるスレイマン氏が、『MWAN THE TRANSFORMATION JOURNEY OF WASTE MANAGEMENT IN THE KINGDOM OF SAUDI ARABIA』と題し、戦略的マスタープランや廃棄物分野における投資機会について説明しました。

その後の質疑応答のセッションでは、日本企業から数多くの質問が寄せられ、スレイマン氏は MWAN のレギュレーターとしての役割、監視機能、新技術の R&D への関与などについて丁寧に回答されました。また、各社の技術や今後の事業展開に関する活発な意見交換が行われ、サウジアラビア廃棄物分野への積極的な投資意欲の高まりが感じられる場となりました。

最後に、スレイマン氏が閉会の挨拶を行いました。



質疑応答の様子①



質疑応答の様子②



レセプションの様子①



レセプションの様子②



森野大使、ムハンマド副社長と共にワークショップ参加者との集合写真

セミナー後に開催されたレセプションでは、MWAN の出席者と参加した日本企業が密に交流を深めるとともに、さらなる活発な意見交換が行われました。

当センターは今後も、MWAN をはじめとするサウジアラビアの関係機関と連携し、日本企業のサウジアラビア市場への進出や投資活動を積極的に支援してまいります。

###